

アルファベットの 大文字を書こう

5年生を対象としたワークシートです。3, 4年生でアルファベットに触れていますが、本格的に書くことが初めてである児童が取り組めるよう作成しました。

教科書を使いながら学習することを考えました。
教科書にはQRコードが記載されていますので、
アルファベットの音を実際に聞き、確認しながら練習ができます。

- ▶ 今回は、アルファベットの大文字を書いてみます。
- ▶ 教科書（Crown Jr. 5）の104,105ページを開いてください。アルファベットの大文字と小文字が4線（4本の線）の上に並んでいます。英語の文字を練習する時は、4線の上に書いていきます。
- ▶ 大文字を見てください。大文字は、4線のどこに書いてありますか？ 次の言葉を使って答えてみよう。

1 本目の線	-----
2 本目の線	-----
3 本目の線（青い線）	-----
4 本目の線	-----

（例）全部の文字が青い線より上にある。
（例）1 本目の線から3 本目の線の間にある。

4線を使うのは主に小中学校ですが、4線を意識することで正しくアルファベットを書くことができるようになります。4線と文字を観察することで、大文字の特徴をすることがねらいです。

QRコードを読み込んで、実際に音声を確認します。音声を聞き、自分で発音することで、文字と音をセットで覚えていきます。

- ▶ アルファベットの大文字は、4線の1番目の線から3番目の線の間で書きます。
- ▶ 実際に書いてみる前に、アルファベットを読んでみましょう。教科書103ページのQRコードを、スマホやタブレット端末で読み込んでみましょう。
- ▶ 教科書の103、104ページと同じ画面が出てきましたね。それでは大文字の「A」をタップしてみてください。「A」の音声が聞こえましたか？
- ▶ 「A」が聞こえたら、繰り返して言ってみましょう。
- ▶ 「B」から「Z」も同じように繰り返して言ってみましょう。
- ▶ 何と云うか分からなかったり、難しい文字は、もう一度繰り返して言ってみましょう。

QRコードを読み込んで、実際に音声を確認します。音声を聞き、自分で発音することで、文字と音をセットで覚えていきます。

- ▶ アルファベットの大文字を、読むことができるようになりましたか？
- ▶ それでは、実際に大文字を書いてみます。まずは、薄く書いてある文字をなぞってみましょう。

ここに教科書のコピー、またはなぞって練習できる大文字のワークシートを添付

- ▶ 丁寧になぞることができましたか？ はみだしたり、ずれたりしていませんか？
大文字は4線の1本目の線から3本目の線まで、しっかり使うことがポイントです
- ▶ それでは、もう1回、大文字をなぞってみましょう。「A」を書くときは、「A」と声に出しながら書くと覚えられますよ。

ここに教科書のコピー、またはなぞって練習できる大文字のワークシートを添付

- ▶ きれいになぞることができましたね。
- ▶ 宿題は、ワークシート①、② 1～3です。 月 日までにすべて完成させてください。急がず丁寧に練習してください。アルファベットの音声も繰り返し聞いてくださいね。

今回のワークシートは、文部科学省作成の「小学校の新たな外国語教育における補助教材（Hi, friends! Plus）」を使っています。古い資料ですが、アルファベット大文字をなぞって書く、練習するという目的には十分合致しています。文部科学省のサイト

（https://www.mext.go.jp/a_menu/kokusai/gaikokugo/1356183.htm）からダウンロードしてください。教科書の指導書にもアルファベット練習用のデジタルデータ等付属していると思いますので、適切なものをご使用ください。既存で利用可能なものは積極的に使っていきましょう。

★応用問題

▶ アルファベットの大文字をグループ分けしてみたよ。当てはまる文字を丁寧に書いてみよう。

(1) たて・横の直線だけでできている文字 (例: E)

(2) たて・横・ななめの直線だけでできている文字 (例: A)

(3) 円・だ円（の一部）が入っている文字 (例: C)

(4) 半分に折ると重なる文字（対称な文字） (例: H)

(5) 上から水をそそぐと水がたまる文字 (例: V)

アルファベットの形に留意しながら、文字を分類する問題です。注意深く文字を観察することが必要になります。グループ分けは他にもできるので、オリジナルのものを考えてください。（例：まっすぐ立つ文字と立たない文字 A⇔J）